

1 コース

プライマリーコース
ハンズオンセミナー

定員:20名

7月30日(日)

時間 30日/10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師

研修費 歯科医師(会員)20,000円、歯科医師(会費未納者、他大学)30,000円
※実習材料費別途 30,000円

明日から使える 歯内療法のエッセンス 2023

～ 髓腔開拓から根管形成の
イメージを確立しよう! ～



木ノ本 喜史

医療法人豊永会きのもと歯科
大阪大学大学院歯学研究科臨床教授

【所属学会】
日本歯内療法学会
(副理事長, 総務委員会委員長, 専門医)
日本歯科保存学会(評議員, 指導医専門医)
日本顕微鏡歯科学会(理事, 認定指導医)
American Association of Endodontists、他

【略歴】

1987年 大阪大学歯学部卒業
1992年 大阪大学大学院歯学研究科修了 博士(歯学)取得
1997年~1999年 米国テキサス大学サンアントニオ校歯学部
歯内療法学講座客員研究員
2001年 大阪大学歯学部附属病院講師
2005年 吹田市にて開業
2009年 大阪大学歯学部臨床教授
2013,2014年 日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
2016年 広島大学歯学部客員講師
2018年 西日本歯内療法学会会長

【近著】

- ・歯内療法成功への道 CT時代の臨床根管解剖 三次元で捉える解剖学的情報と病態, ヒョーロン, 2022年2月
- ・歯内療法成功への道 治療に導くエンドの秘訣 難症例克服のための歯内療法ケースブック, ヒョーロン, 2020年6月. 編著
- ・歯内療法成功への道 感染根管治療 Retreatment 感染制御の要点を知る. ヒョーロン, 2019年6月. 編著
- ・3D根管解剖 CGを操作してイメージする髓腔開拓・根管形成, 2017年7月
- ・歯内療法成功への道 抜髄Initial Treatment 治療に導くための歯髄への臨床アプローチ, ヒョーロン, 2016年7月
- ・歯内療法成功への道 臨床根管解剖 基本的知識と歯種別の臨床ポイント, ヒョーロン, 2013年6月
- ・歯内療法成功への道 根尖病変 治療に向けた戦略を究める, ヒョーロン, 2013年6月
- ・歯内療法成功への道 偶発症と難症例への対応 病態・メカニズムから考える予防と治療戦略, ヒョーロン, 2014.3.
- ・最新 歯内療法の器具・器材と臨床活用テクニック, 日本歯科評論 別冊2015, 2015年5月. 編著

歯内療法は、根管系から起炎物質を除去した後の緊密な充填により、歯を歯周組織の中で長期に安定した状態で機能させることを目標とする。そして、治療は基本的に歯の削除を伴うため歯質の保存を意識する必要がある。削りすぎると歯の寿命が短くなり、削り足りなければ操作が不十分になり満足な結果が得られない。毎日の臨床で歯内療法について悩んでいる割合は多いのではないのでしょうか。

歯内療法において診断がもちろん重要ではあるが、実際に根管にアプローチしていくと、髓腔開拓から根管口明示、そして根管の拡大・形成・充填までを、効率よく安全に確実に行うことが必須となる。今回は、プラスチック模型を用いて、髓腔開拓から根管形成のイメージを確立し、安全・正確・迅速にという日常臨床で求められる要素を踏まえた歯内療法を実践するきっかけとなる研修会を目指します。

2コース

プライマリーコース
ハンズオンセミナー

定員:10名

9月10日(日)

時間 10:00～16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師・歯学部歯学科学生

研修費 歯科医師(会員)10,000円、歯科医師(会員5年未満)5,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)20,000円
歯学部歯学科学生無料

歯科医院に 口腔内スキャナー(IOS)を 導入しよう! ～IOS体験セミナー～



柏木 宏介

大阪歯科大学主任教授
(有歯補綴咬合学講座)

[略 歴]

1992年 大阪歯科大学卒業
1996年 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
(歯科補綴学)
1997年 大阪歯科大学助手(歯科補綴学第二講座)
2005年 大阪歯科大学講師(有歯補綴咬合学講座)
2010年 大阪歯科大学大学院准教授(有歯補綴咬合学)
2012年 大阪歯科大学大学院歯学研究科講師
(非常勤)(有歯補綴咬合学)
2020年 大阪歯科大学主任教授(有歯補綴咬合学講座)



鳥井 克典

大阪歯科大学講師(有歯補綴咬合学講座)

日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本歯科審美学会 認定医

[略 歴]

1997年 大阪歯科大学卒業
2001年 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
(歯科補綴学専攻)
2004年 大阪歯科大学助手(有歯補綴咬合学講座)
2007年 大阪歯科大学助教(有歯補綴咬合学講座)
2015年 大阪歯科大学講師(有歯補綴咬合学講座)
2016年 大阪歯科大学大学院歯学研究科助教
(有歯補綴咬合学講座)

歯科医療におけるデジタルテクノロジーの浸透は目を見張るものがあります。補綴治療においては2014年から保険診療に導入されたCAD/CAM冠をきっかけとして、ラボで作業用模型がデジタルデータ化され、ソフトウェアで設計、ミリングマシンにてクラウンが製作されています。まだまだ多くの歯科医院においては、トレーと印象材から得られた石膏模型と咬合採得材をラボに送る作業が日常と考えられます。

近年、口腔内スキャナーによる光学印象技術が目覚ましく進歩し、普及し始めました。印象採得のデジタル化がいよいよ本格化しています。チェアサイドで「治療」にたずさわる歯科医師自身が補綴治療におけるデジタルワークフローに大きくかかわる時代がやってきました。

医院に口腔内スキャナーの導入を検討している、興味はあるがもう少し詳しく知りたい、そのようなお考えをお持ちの先生に向けたハンズオン講習会です。最新機種(Trios4、PrimeScan、iTeroエレメント5Dプラス、Medit i700、予定)をお試しいただき、光学印象だけでなく、コンサルティングツールとしても利用価値の高いIOSをぜひ体験してください!

3コース

プライマリーコース
ハンズオンセミナー

定員:20名

10月22日(日) 明日から実践、歯周病治療！ 見直そう、歯周外科処置！

時間 10:00～16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎 ～ 基本から応用まで、

対象 歯科医師

驚くほど歯周治療が
面白くなるエッセンスを伝授～

研修費 歯科医師(会員)20,000円、歯科医師(会員 5 年未満)10,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)30,000円
※実習材料費別途 15,000円



大川 敏生

大川歯科医院 院長

特定非営利活動法人日本歯周病学会専門医
特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会認定医
特定非営利活動法人日本顎咬合学会認定医
公益社団法人日本口腔インプラント学会会員
AAP(American Academy of Periodontology)会員
OJ(Osseointegration Study Club of Japan)会員
JSCO(JIADS STUDY CLUB OSAKA)会員

〔略 歴〕

1998年 大阪歯科大学歯学部 卒業
1999年 医療法人 おくだ歯科医院 勤務 奥田裕司先生 師事
2012年 大川歯科医院 開設
JIADS ペリオ・インプラントアドバンスコース 常任講師

〔近 著〕

・『驚くほど臨床がわかる！こだわりのペリオサブノート』
クインテッセンス出版株式会社 2018年11月発行 共著
・『歯周外科を見直そう！』(ザ・クインテッセンス)
クインテッセンス出版株式会社 2016年2月号,4月号,6月号 連載
・『イラストで学ぶ歯周組織再生療法 再生の3原則を踏まえた対応の実践』
(ザ・クインテッセンス)
クインテッセンス出版株式会社 2015年9月号
・『成功する歯周再生療法 一歯を保存するために』
ChapterⅣ 1.基本テクニックと器具 2.症例から学ぶ術式の実践
医歯薬出版株式会社 歯界展望 別冊 2012年11月発行 共著

〔最低限必要なオペ器具〕

ブローベ(5400円)、メスホルダー(2本)(13500円)、骨膜剥離子(5820円)、
コロンビア(ユニバーサルキュレット)(6560円)、
ピンセット(無鉤4840円、有鉤4840円)、キドニーシェイブナイフ(7884円)、
スピアシェイブナイフ(7884円)、TG-Oチゼル(7884円)、
シザース(7560円)、カストロビジョー(59960円)
合計 124,284円

〔あったら便利なオペ器具〕

バックアクションチゼル、ティッシュニッパー(11880円)

「歯周外科処置」という言葉を聞いて、自分には縁遠いことだと思える先生も少なくないのではないだろうか。しかし、日本では、2016年の歯科疾患実態調査で35歳以上の8割が歯周病と報告されており、現在の歯の喪失原因の第一位である。広く国民の健康を考えれば、その状況に向き合い、知識・技術の習得は欠かせない。

歯周病患者の口腔内は様々な病態を呈し、その対応は困難をきわめる。しかしながら、どのような病態であれゴールは同じであり、天然歯保存とその永続性を目指すべきである。歯周病治療においては、まず、非外科処置により深いポケットの改善を試みるが、それだけでは対応できないケースがあり、歯周外科処置を避けては通れない状況に遭遇する。ゆえに、その適応と効用を理解し使用することで、目指すべき歯周状態を獲得できると考える。

また、歯周組織に対する外科的アプローチは、歯周病治療だけにとどまらず、歯肉縁下カリエスへの対応や歯頸ラインの不揃いに対する審美面の改善など、非炎症性疾患に対する手技としても有効である。修復物の長期安定や患者の高い要求に対応できる治療オプションとして持ち合わせておくべき時代であると実感する。

そこで本コースでは、歯周病治療におけるコンセプトや目指すべき治療のゴール、さらに治療オプションの選択とその詳細を解説し、歯周病治療に必要な知識を整理したい。また、ハンズオンでは、豚の下顎骨を用い、歯周外科処置の基本である「切開」「剥離」「縫合」など軟組織のマネジメントから、「骨外科処置」に代表される硬組織への対処など基本的なテクニックを中心に、理解を深めたいと考える。